



ボランティア・ワークショップ

「年賀状を多色摺り木版画で作ろう」

当館の主要コレクションの1つである浮世絵版画と近代版画、その技法や制作工程への理解・関心を深めることを目的に、2006年からこのワークショップはスタートしました。毎回、美術館のボランティアスタッフを中心に企画・運営され、「版画を作る会」から講師をお招きし、丸2日間をかけて木版画多色摺りの工程をひと通り体験できる充実の内容となっています。

概要 OUTLINE

日程 11月4日(日)、11日(日)

時間 10:00～16:00

会場 9階講座室

対象 高校生以上

参加者数 23人

協力 版画を作る会

スタッフ 美術館2人、ボランティア

ア延べ22人

参加費 1000円

参加方法 事前申込制

ワークショップの流れ FLOW

- ① 版木にヤスリをかけ、薄い赤色を刷毛で塗って乾かしておく。
- ② 各自で用意してきたデザイン案をもとに下絵を完成させ、色ごとに版分けして、板木に転写する。
- ③ 転写した線に沿って、彫刻刀で彫る。
- ④ 運び筆で絵具を版木に置き、刷毛ですりこむ。その上に紙をのせ、バレンで摺る。それを繰り返し、1色ずつ重ねていく。
- ⑤ 最後に全員でお披露目会。2日間の感想を伝えあう。

材料と道具 MATERIAL & TOOL

版木、水彩絵具、鉛筆、色鉛筆、カーボン紙、ベビーオイル、はがき、見当シール、彫刻刀、マット、刷毛、筆、ボール、絵皿、バレン



コピーしたデザイン案にベビーオイルを薄く塗って透明にし、転写している。



最初はおっかなびっくりだった彫刻刀の動かし方も、徐々に慣れて大胆&的確に。



バレンをぎゅっと握り、力を込めて1色ずつ摺りあげていく。完成はもう間近!

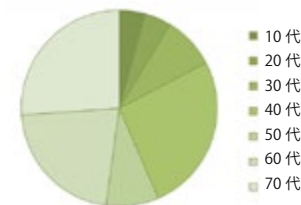


今年も、個性豊かでバラエティに溢れる年賀状がたくさん完成。

参加者の声 VOICES

- ・二日間にわたり、じっくり時間をかけて作業ができ、先生方の親切なアドバイスもあったのでとても満足できる年賀状に仕上がりました。(30代/女性)
- ・普段は仕事で忙しく、土日は仕事か家でゴロンとしている位でしたが、仕事と全く違う作業を集中して行う事が非常に新鮮で、気持ちの切り替えにとってもよい体験でした。(40代/男性)
- ・図案を考えるとところからワクワクが続き、とても楽しかったです。先生もボランティアの方も丁寧に教えてくださったので、安心してできました。(30代/女性)
- ・すごく頭を使う事で、充実感を味わった。(70代/男性)
- ・美術館で木版画作品は何度も見ているが、自分で体験したのは小学生以来。自分で作品をつくる楽しさを実感した。(40代/男性)
- ・仕上がりにとても満足です。孫達にも教えてあげたいと思います。(60代/女性)

参加者の割合(年代) AGE



メールでの申込を開始してから今年で3回目の開催。徐々に若い世代の参加が増えている。今回も10代から70代まで、幅広い年齢層の方の参加があった。

講師プロフィール ARTIST'S PROFILE



版画を作る会

(左から、遠藤氏、白井氏、別部氏、大平氏)

50年以上の歴史を持つ木版画の愛好会である「版画を作る会」は、版画家・船崎光治郎さん(1900～87年)を講師に1966年に発足した。千葉市と茂原市で活動する2グループで構成され、現在会員は約30人。版画講座の開催や作品の展示会など年間を通して活動をしている。